

平成22年12月

在デトロイト総領事館

冬季の安全運転について

車の整備：バッテリー、冷却水（不凍液）、ウインドウォッシャー液（原液）、タイヤ空気圧点検、早めの給油。

積載品の準備：雪落としスクレイパー、バッテリー用接続ケーブル、防寒具類、懐中電灯等の積載。厳冬期に車が故障し、動けなくなると、生命が危険にさらされるおそれがある（もしもに備えてAAAの会員になっておくと良い）。

凍結しやすい場所を知る：黄色地に「ICY」は「路面凍結注意」の標識です、十分に減速して走行する。橋の上、トンネルの出入口、交差点やカーブの手前や日陰は凍結しやすい。走行中のタイヤの音が静かになったときは、路面が凍っている可能性がある。

運転前の注意：十分に暖機運転（安全のため車庫から出す）する。スクレイパーなどで窓やライトの雪や氷を落とす（ウインドウォッシャー液やワイパーは窓ガラスが温まるまで使用しない）。

駐車時の注意：可能であれば屋内駐車場を利用する。厳冬期の屋外駐車では坂でない限りパーキングブレーキは使用せず、ATレバーをP（MTの場合は1又はR）にして駐車する。ホイールハウス内に溜まった雪を放置すると氷結してハンドル操作ができなくなるので駐車したらすぐに落とす。

積雪・凍結路運転時の注意：米国北部の多くの車が使用する夏冬兼用のM+Sタイヤはスタッドレスタイヤ程の効果は期待できない。スピードを控えめにし、車間距離を十分にとり、急ハンドル、急ブレーキなど「急」の付く操作を避ける。ブレーキは直線部分で、早めに、ソフトに踏む。降雪時にはワイパーを使用し、ヘッドライトを点灯する（デイライトポジションはテールライトが点灯しないので危険）。吹雪などで視界が悪いときは無理をしないで安全な場所に一時待機する。ラジオなどにより天候の変化に気を配る。

フリージングレイン：日本では見られない現象で、水滴として降ってきた雨が、フロント路面やガラスその他にぶつかった瞬間に凍ってしまう現象で非常に危険です。天気予報で確認し、フリージングレインが降っている間は外出を控える。既に外出中の場合は暖房を強くし、吹き出しをデフロスター（窓のマーク又はDEF）にしてゆっくりと走行して安全な場所に避難する。

詳しくは当館ホームページから「安全の手引き」をご確認ください。